

令和元年度目標管理シート

【環境安全部長 平岡 和富】

市の目標	将来都市像「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」の実現		
部の目標	安全・安心なまちのための着実な一歩		
部の概要	人員	27人	予算規模 2,513,639千円

【具体的な取り組み】

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
1	地域安全課	総計	安全・安心まちづくりの推進	自治会等に対し防犯カメラの設置が必要とされる場所を選定し、安全安心まちづくりの取り組みを行い、設置自治会を3団体とする。	A	●予定していた3団体について、防犯カメラの設置が完了し、補助金交付及び東京都への請求についても完了した。
2	地域安全課	総計	自治会防犯街路灯のLED化	補助希望自治会への補助を通して、自治会等が所有する防犯街路灯のLED化の促進を図る。200灯分の予算の範囲内で申請自治会に対して補助を行う。	A	●200灯分の補助予算を確保の上事業を実施し、155灯分の補助を実施した。
3	地域安全課	総計	交通安全対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市立第一中学校及び市立第三中学校で実施するスクエアード・ストレイト技法（プロスタントマンによる交通事故再現）を用いた自転車安全教室への市民参加を呼びかけ、参加者の自転車安全利用についてアンケートを実施し、80%以上の意識改革を図る。 ・小学校やPTAが主体となって交通安全運転教室を開催し、交通安全意識の向上を目的とした交通安全教室事業を市内全小学校に対して実施する。 ・交通安全啓発看板（ナイトポリス）を市内の交通事故発生地点や、危険箇所を分析したうえで30基設置し、適切な内容の啓発を実施する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民も参加できるよう市報での広報だけでなく、一中と三中の学区にある自治会に通知をした。【一中：令和元年5月18日（土）実施、約350名参加】 【三中：同年10月21日（月）実施、約460名参加】 参加者へのアンケートでは、90%以上から「今後、自分の自転車の乗り方を見直す」と回答があった。 ●警察署と連携し、子どもから高齢者までキャンペーンを実施した。 小学校に対しては、交通安全教室を開催し、実技なども行った。 ●ナイトポリスを市内の危険箇所に令和元年12月9日までに35箇所設置完了した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
4	環境・住宅課	総計	住環境のマネジメント	所有者が不明であり、地域の生活環境に悪影響を及ぼす空家等について、調査を行い、適切な対応の方策を判断する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の調査では所有者が確知できない1件の空き家について、法に基づく指導等が可能になる特定空家等に認定した。 ・特定空家等の認定にあたっては、特定空家等対策庁内連絡会及び東村山市空家等対策協議会に諮り、意見をいただいた。 ・所有者を確知できない2件の空き家について、司法書士に権利関係の調査委託を行い、うち1件は所有者が存在であることが判明した。
5	防災安全課	総計	災害時応急活動体制の強化	令和元年5月に防災naviシステムを本稼働させ、アプリ登録件数3,000件以上とする。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年5月15日のシステム稼働以降、多くの利用者が登録し、令和2年3月末時点で9,000名を超える登録がなされた。
6	防災安全課	総計	災害時防災備蓄の充実	多摩直下地震の避難想定数である約23,500人分に対応するため、100,000個の排便処理剤を備蓄する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度に続き、令和元年度も避難想定数分の数量確保に向けて計画通り100,000個ずつ排便処理用品の購入を行った。
7	防災安全課	総計	防災備蓄倉庫整備事業	新規防災備蓄倉庫の設置場所を検討する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●全生園及び全生園入所者自治会と「災害時における国立療養所多磨全生園の施設等の利用に関する協定」を令和2年2月19日に締結した。当該協定締結と合わせて、全生園内の空き病棟内の一部を市の防災備蓄倉庫として使用することについても承諾を得た。
8	防災安全課	総計	防災行政無線（移動系）デジタル化対応	防災行政無線（移動系）のデジタル化に向けた手法の検討、決定及び予算化を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●防災行政無線（移動系）デジタル化に伴う工事の実施設計を終えた。 ●工事にかかる予算を令和2年度予算として要求し、予算化を図った。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
9	公共交通課	総計	地域公共交通事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「ところバス吾妻循環」の実証運行終了後の方針を示し、決定する。 ・公共交通空白・不便地域の解消に向け、「新たな移動手段」について検討し、福祉施策と公共交通施策との役割を整理する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●「ところバス吾妻循環」について、実証運行終了後の運行停止を決定し、令和2年3月31日をもって運行を停止した。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議で、実証運行の結果を報告し、判断基準に基づく判断の上、合意形成を図った。 ・所沢市と運行停止及び時期について協議を調えた。 ・市としての方針を決定後、地域への説明会を行った。 ●福祉施策や産業分野など幅の広い視点で、新たな移動手段の検討をするための会議体を設置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉分野、産業分野の担当所管と公共交通施策が抱える課題について、情報を共有した。 ・「東村山市地域公共交通あり方検討会設置規則」を令和2年1月27日に施行した。